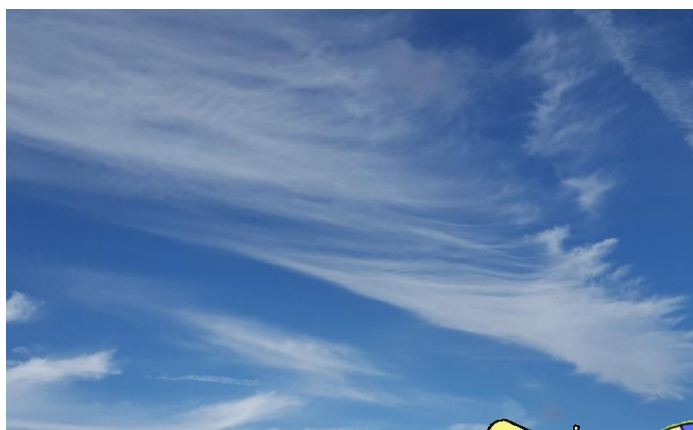


星空の交差点

空を見上げてみよう

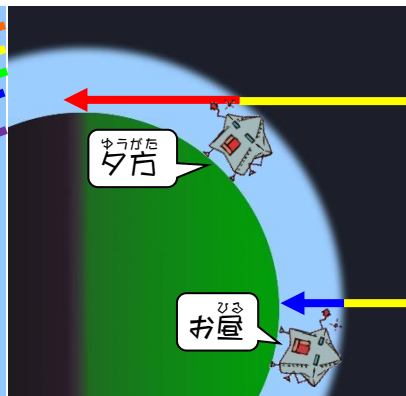
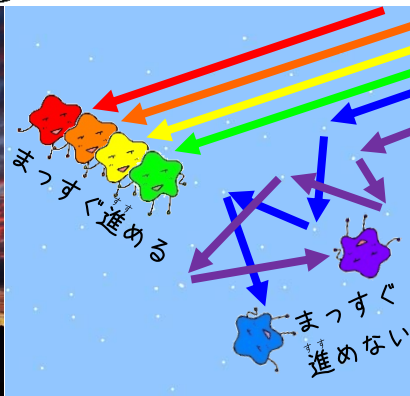
青い空をゆったりと流れる白い雲をぼんやり眺めていると、心が落ち着きますね。そして、毎日空を見ていると、虹や夕焼けなど、いろいろな現象に出会えます。今回は、私たちの頭上に広がる空についてご紹介します。



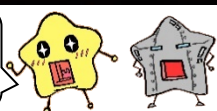
地上から見る空はどこまでも続いているように見えるね



青空の正体は、厚さわずか100kmほどの地球の大気で、そのうち雲があるのは地上10kmくらいまでです。

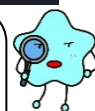


真っ赤な夕焼け！
きれいだなあ



太陽の光のうち、紫や青の光は大気の粒に当たってまっすぐ進めません。いろんな方向に散らばった青や紫の光で、空全体が青くないマス。

夕焼けの光は大気の中を通る距離が長いからまっすぐ進める赤や黄色の光だけが届くんだね！



夕焼けのほかにも
いろいろきれいな
現象が見られます



みなさんも空のふしぎを探してみてくださいね～



にしわき経緯度地球科学館テラ・ドーム企画展

空のふしぎ展

- 期 間：令和4年3月19日(土)～6月26日(日)
- 場 所：にしわき経緯度地球科学館「テラ・ドーム」企画展示室
- 協 力：荒木健太郎／『すごすぎる天気の本』(KADOKAWA)
- 開館時間：10:00～18:00
- 休 館 日：月曜日・祝日の翌日(土日祝をのぞく)
- 入 館 料：大人400円、シルバー300円、学生200円、小中学生100円

お天気教室

空を見上げてみよう！

☆日時：5月21日(土)

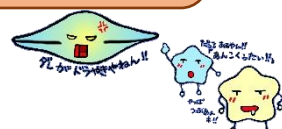
13:00～・15:00～(各1時間)

☆場所：テラ・ドーム学習室

☆講師：高瀬邦夫先生

☆対象：小学校4年生以上

☆定員：25人(要申し込み)

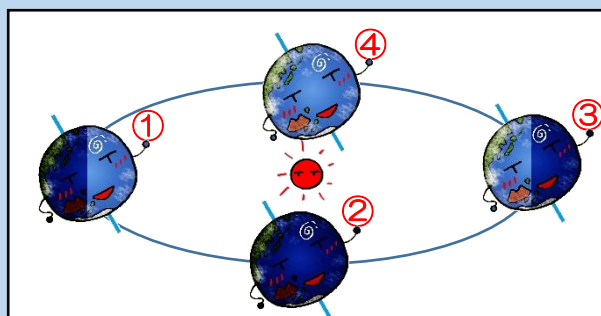


星空のみどころ 5月～7月

●6月21日(火) 夏至

地球儀を見てみると、斜めになっていますね。あの傾きは、地球の自転軸が太陽の周りを公転する軌道面に対して23.4度傾いていることを表しています。

地球は太陽の周りを公転していますが、地球の位置によって、太陽の光の当たり方が変わります。右の図で、地球が①のところにある時、北極が太陽と反対の方に向いているので北半球は冬です。そして③のところでは、北極が太陽の方に向いているので北半球は夏になります。②は冬と夏の間で春、④は夏と冬の間で秋になります。6月21日、地球が③の位置にやってきます。この日、日本では太陽が1年で最も高くのぼります。これから日に日に気温が上がって季節は夏になります。熱中症にご注意を！



●7月14日(木) 今年最大の満月

月は地球の周りを回る衛星です。月の軌道はまん丸ではなく、楕円形をしているので、地球に近い時と遠い時があります。このため、同じ満月でも大きく見えたり、小さく見えたりすることになります。7月14日、今年最大の満月が見られます。とは言っても、小さい満月と比べて13パーセントほど大きくなるだけなので、目で見てその変化をとらえることは難しいでしょう。望遠レンズで写真を撮って比べればわかるかもしれません。



にしわき経緯度地球科学館「テラ・ドーム」

星空の宝石箱③ りょうけん座の球状星団M3

りょうけん座は、春の星座うしかい座に連れられた2匹の猟犬の星座です。このりょうけん座に、球状星団M3があります。球状星団は、数十万個の太陽のような星の大集団です。M3はおおよそ50万個の星が直径100光年ほどの球状に集まっていると考えられています。テラ・ドームの望遠鏡では、無数の星が集まっているようすがわかります。これだけたくさんの星があれば、地球のような惑星がきっとあると思いますが、光や電波で3万4千年もかかる距離ですから、友達になるのは難しいでしょう。

球状星団M3

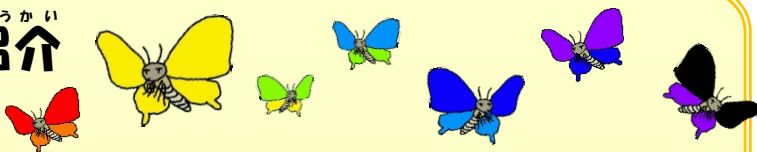


にしわき経緯度地球科学館「テラ・ドーム」



テラ・ドームみどころ紹介

蝶の庭



今年3月、テラ・ドームの玄関前に、新しい見どころが誕生しました。蝶の庭です。一年を通していろいろな蝶に出会える場所として、自然探索グループの皆さんがボランティアで整備し、管理してくださっています。

蝶は、種類によって幼虫が食べる植物(食草)や、成虫が好む花が決まっています。蝶の庭には、ジャコウアゲハの食草ウマノスズグサや、アゲハチョウの食草である柑橘類、ルリタテハの食草ホトトギス、オオムラサキの食草エノキなどのほか、いろいろな蝶が蜜を吸いに集まってくる花が植えられています。皆さんも、へそ公園にお越しの際は蝶を探してみてください。



ツマグロヒョウモン



ベニシジミ



キアゲハ



ジャコウアゲハ



へそ公園周辺の植物

ナヨクサフジ(マメ科)

近年、5月から6月ごろ、加古川や杉原川の河川敷がナヨクサフジの紫色の花に覆われているのを見かけます。もともとはヨーロッパ原産で、飼料や緑肥として育てられていたものが野生化して広がったものです。クサフジと比べると弱々しいことからナヨクサフジと呼ばれているようですが、繁殖力は旺盛のようです。



にしわき経緯度地球科学館「テラ・ドーム」

☆空クイズ☆

第1問

空に浮かぶ白い雲は何でできている？

- ①綿
- ②水蒸気
- ③氷や水のつぶ



第2問

虹は、雨の粒と何がある時にできる？

- ①太陽の光
- ②強い風
- ③冷たい空気

第3問

空から降ってくる雨の粒はどんな形？

- ①しずく型
- ②まる型
- ③おまんじゅう型

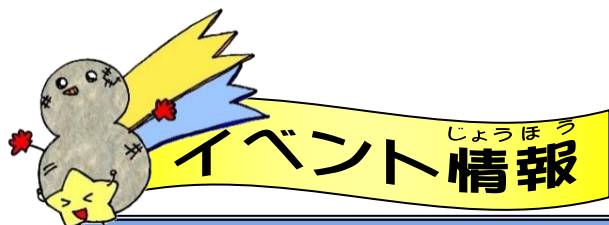
第4問

時々空から降ってくるのは？

- ①おかき
- ②あられ
- ③おせんべい



こたえはうらにあるよ



- 開館時間 10:00～18:00
- 休館日：月曜日・祝日の翌日(土日祝は開館)・12/29～1/3
- 入館料：大人400円・シルバー300円・学生200円・小中100円

「空のふしぎ」展

空のいろいろな現象解説や、雨粒浮遊装置、虹スクリーンなどの実験コーナーがあります。空のふしぎにせまってみよう！



- ★ 3月19日(土)から6月26日(日)まで
- ★ 場所：テラ・ドーム企画展示室
- ★ 入館料だけで見られます。

テラ・ドームギャラリー



地元で活躍するアマチュアの自然、風景の写真や絵画などを月替わりで展示します。

- ☆5月 寺尾昭男「悠々の季節に魅せられて」
- ☆6月 西脇シニアカレッジ写真講座作品展
- ☆7月 自然写真シリーズ展Vol. 27

土曜ちよこっとサイエンス

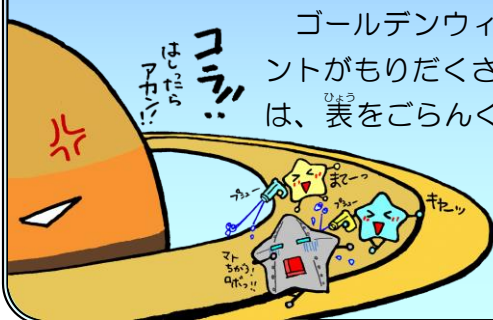


内容は週ごとに変わります。簡単な工作をしながら科学の不思議を体感しよう！

- ★毎週土曜日 11:30～・13:30～・15:30～
- ★定員は各回20名程度です。
- ★内容：空気とあそぼう(バルーンアート)、コットンボールであそぼうなど

ゴールデンウィークのイベントについて

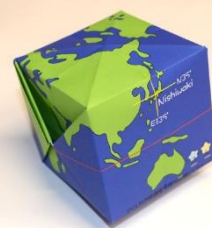
	5/1 (日)	5/2 (月)	5/3 (祝)	5/4 (祝)	5/5 (祝)	5/6 (金)	5/7 (土)	5/8 (日)	5/9 (月)
ちよこっと	×	×	×	×	×	休	○	×	休
科学教室	○	×	○	○	○	館	×	○	館
天体観測	×	×	○	○	×	日	○	×	日



ゴールデンウィーク中もイベントがもりだくさん！開催日程は、表をごらんください。

子ども科学教室

身近な材料を使った実験や工作で科学のふしぎを体験しよう！入館料だけでご参加いただけます。(先着6組)



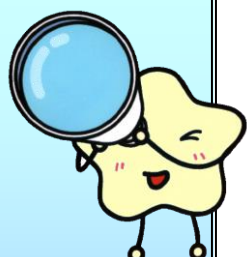
日曜・祝日 11:30～・13:30～・15:30～

- 5/1・3 折り紙で地球をつくろう
- 5/4・5 ゴム鉄砲であそぼう
- 5/8・15 偏光まんげきょうをつくろう
- 5/22・29 ふわふわボールをつくろう
- 6/5・12 ミズスマシポートであそぼう
- 6/19・26 にじスコープをつくろう
- 7/3・10 ぴよんぴよんがえるをつくろう
- 7/17・18 ダンボールつりであそぼう
- 7/24・31 アメンボすいすい



夜のスターウォッチング

81cm大型反射望遠鏡でいろいろな星を見てみよう！



- ★土曜日・祝前日 19:30～21:00
- ★参加費：1人200円(幼児は無料)
- ★定員：6組または20名(先着順)
- ★要電話予約(当日でも可)

※ 悪天候の場合はプラネタリウムと星のお話です



みどころ：スピカ、アークトゥルス、ポリマ、球状星団M3、子持ち銀河M51 など

テラ・ドーム通信「星空の交差点」

2022年5月号

にしわき経緯度地球科学館「テラ・ドーム」

TEL 0795-23-2772

<http://www.nishiwaki-cs.or.jp/terra/>